

## 別添1：事業プログラム・スケジュール実績（令和4-7年度）

(1) 事業プログラム ※全体の取り組みを通じて、対話とファシリテーションの医術も体験的に学ぶ。

	工程	内容
A	告知	受講生募集の告知（ポスター・チラシ・DM・市ホームページ・市SNS等）。
B	面接	グループ形式で面接を実施（志望動機、受講意欲、傾聴力、営利・宗教の有無を確認）。※R4は実施なし。
C	メンター募集	前期までの受講生から事務局協力者メンターを募集。※特記仕様書8(2)、R4は実施なし。
D	講座① 導入・チームづくり	参加者のチームビルディングを行う。対話の心得や実践から今後の展開のイメージを共有。
E	講座② インプット（まちの現状）	市の現状と課題、市の魅力について、市職員をゲストに招き説明する（施策・条例・計画も含む）。
F	講座③ SDGs 体験	SDGsとはなにか？について、カードゲームで体系的に学ぶ場。
G	講座④ やりたいことプレゼン	自分のやりたいことを企画・プレゼンする場。ゲストからのレビューをもらい内容を精査。
H	講座⑤ プロジェクトの具体化	講座④のプレゼンを受け、4人前後のチームをつくる。チームでのプロジェクトの具体化を行う。
I	プロジェクト実践時期	チームごとに小さな実践に挑戦する期間。チームごとに個別の伴走支援を行う。
J	講座⑥ ふりかえり報告会	講座及び実践の発表を行う。報告会参加者との対話の場を通じて、新たな出会い・つながりを醸成する。
K	事業ふりかえり	次年度に向けて、事務局関係者で振り返りを行う。

(2) スケジュール実績

年度	受講数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R4	23名				A	A	DEF	GH	I	I	I	J	K
R5	20名	A	B	CDEF	GH	I	I	I	I	J	K	K	K
R6	15名	A	B	CDEF	GH	I	I	I	I	J	K	K	K
R7	18名			A	AB	BC	DE	FGH	I	I	I	I	JK